



## 平成30年7月豪雨を踏まえ、国・県・市町が連携して防災・減災対策を進めていきます

西日本で発生した平成30年7月豪雨では、広島県内においても大雨特別警報が初めて発令されました。この豪雨では太田川の支川である三篠川で氾濫危険水位に達し、各地で浸水被害や土砂災害が発生しました。

この災害を踏まえ、平成28年度に設立した「大規模氾濫時の減災対策協議会」の平成30年度第2回会議を太田川水系・小瀬川水系共に開催しました。

協議会では、「住民に切迫感が伝わっていない恐れがある」などの課題が出されました。これに対し専門家による出前講座等を開催し災害への危機意識を高めてもらうことや、住民の避難行動を支援するきめこまやかな防災情報を発信する等を各機関が連携して進めることとなりました。

国土交通省としても、引き続き堤防整備・河川改修等のハード整備を進めると共に、ソフト対策として住民の皆様にはわかりやすい情報発信に努めていきます。

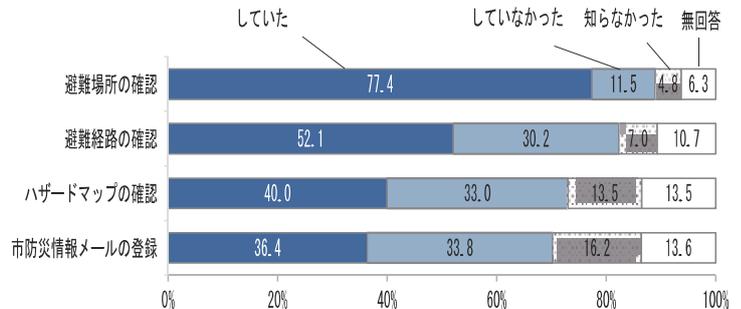
### ※減災対策協議会とは

平成27年9月の関東・東北豪雨を受け、堤防の決壊や越水等に伴う浸水被害に備え、流域の関係機関（国・県・市町）が減災のための目標を共有し、連携・協力して、ハード対策とソフト対策を一体的かつ計画的に推進し、社会全体で洪水に備える「水防災意識社会」を再構築することを目的とした協議会です。



太田川水系大規模氾濫時の減災対策協議会  
【平成31年2月4日】

### ■避難に対する備えと避難行動のアンケート結果



避難経路・ハザードマップの確認、  
防災情報メールの登録をしていない人の割合が約5割以上

出典：第3回平成30年7月豪雨災害における避難対策等検証会議（広島市）資料

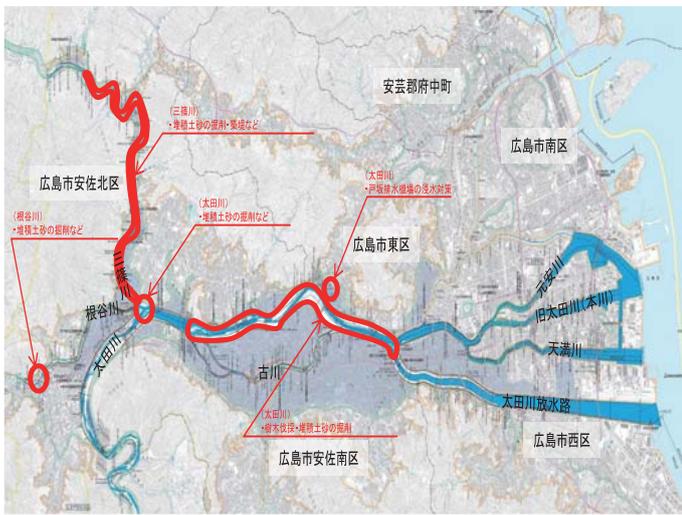
# ～ハード・ソフトの両面からインフラの機能を強化し、災害時に命を守り、暮らしと経済を支えます～



伐採前イメージ



伐採後イメージ



位置図

平成30年7月豪雨など近年激甚化している災害により全国で大きな被害が頻発している状況から、「重要インフラの緊急点検の結果及び対応方策」がとりまとめられ、特に緊急に実施すべき対策として、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」が平成30年12月14日に閣議決定されました。

国土交通省では、所管する分野において、ハード・ソフトの両面からこの緊急対策に集中的に取り組んで参ります。

太田川河川事務所では、樹木の繁茂や土砂堆積による洪水氾濫を防止するため、太田川や根谷川、三篠川で樹木伐採及び堆積土砂の掘削を行うとともに、三篠川では堤防の未整備箇所での築堤も行います。また、戸坂排水機場では、周辺が浸水しても排水運転が継続出来るようにするため、浸水対策を行います。

## 高瀬堰下流の堆積土砂を撤去しました

平成30年7月豪雨では、高瀬堰下流においても洪水により流下した土砂が多く堆積しました。

堆積した土砂を残しておくくと更に土砂堆積が進み、堰のゲートが閉まらなくなる恐れもあるため、ゲート操作を確実に出来るように、堰下流に堆積した土砂の撤去を実施しました。

これからも適切な高瀬堰の運用のため周辺状況を監視し、必要な対策を行ってまいりますので、みなさまのご理解とご協力をお願いいたします。



掘削状況



土砂堆積状況



# 『かわまち大賞』受賞

## 広島市の水辺のオープンカフェの取り組みが評価されました

『かわまち大賞』は、国土交通省が今年度新たに創設したもので、全国で進められている「かわまちづくり」の中から、他の模範となる先進的な取り組みを認定するものです。

記念すべき第1回の『かわまち大賞』に、太田川市内派川におけるかわまちづくりの取り組みが認定されました。

その取り組みは、河川空間を利用した民間事業者による「水辺のオープンカフェ」で、

「水の都ひろしま推進協議会」が主体となって、出店者から徴収した事業協賛金を活用し河川空間を良好に維持する仕組みを導入しています。以前は河川空間の民間による商業的な利活用は規制されていましたが、規制緩和区域を指定し、全国で初めて京橋川で実施されました。現在、太田川では元安川でも展開されています。

オープンカフェのある水辺は、来訪者の憩いや交流の場として利用されています。

水辺の素敵なカフェで、美しい景色を眺めながらゆっくりと過ごしてみませんか。

＜かわまち大賞受賞箇所＞



水の都ひろしま推進協議会「かわまち大賞」授賞記念写真

水系名	河川名	都道府県	かわまちづくり名称	取組内容	取組主体
太田川	元安川 京橋川	広島県	天満川、旧太田川(本川)・元安川地区及び京橋川・猿猴川地区かわまちづくり	水辺のオープンカフェ	「水の都ひろしま」推進協議会
最上川	最上川	山形県	長井地区かわまちづくり	長井フットパス～かわからまちへ、まちからかわへ～	長井市かわまちづくり推進協議会

＜かわまちづくりとは＞

地域活性化のために景観、歴史、文化及び観光基盤などの地域が持つ「資源」や地域の創意に富んだ「知恵」を活かし、市町村、民間事業者及び地元住民と河川管理者が連携して、「河川空間」と「まち空間」が融合した良好な空間形成を目指す取組みです。

国土交通省では、この「かわまちづくり」計画に対し、ハード・ソフト両面で支援を行っております。



水辺のオープンカフェ



元安川



京橋川

冬のイルミネーション

## 「広島西部山系砂防事務所」が設置されます

平成30年7月豪雨によって発生した土砂災害の復旧をはじめとした砂防事業への取組強化のため、平成31年度、太田川河川事務所庁舎内に「広島西部山系砂防事務所」が新たに設置されます。

これまで太田川河川事務所が行ってきた砂防事業については、全て新事務所が引き継ぐことになります。

豪雨災害からの一日も早い復旧に向けて、事務所職員一丸となって取り組んでまいります。

## GOGIルーム廃止のお知らせ

事務所の新設に伴う庁舎内の配置変更により、GoGiルームを廃止いたしました。

今後、ホームページを活用し広報の拡充に取り組んでまいります。

長らくのご愛顧ありがとうございました。



# 平成30年7月豪雨対策進捗状況(砂防)

太田川河川事務所では昨年の7月豪雨を受けて、広島西部山系の4地区、安芸南部山系の5地区で砂防堰堤の緊急的な整備を進めています。



住民説明会の様子(安芸郡坂町上条地区)



現場説明の様子(安佐南区八木3丁目)



復興交流館での交流の様子

砂防施設の計画について  
地域の皆さまに説明しました

復興の進む平成26年  
豪雨災害被災地を見学

安芸南部山系の砂防堰堤の設計が進んだ箇所を対象に、砂防施設の配置計画に関する住民説明会を開催しました。

平成31年1月19日及び20日、安芸郡坂町において開催した説明会には、合わせて約100人の参加をいただきました。

また、平成30年12月8日には広島市安芸区矢野東7丁目、平成31年1月20日には広島市安芸区中野東・山王地区、平成31年2月24日には呉市天応地区で、説明会を開催しました。

10月22日に広島市安佐北区口田南3丁目などにおいて開催した強靱ワイヤernet完成説明会の際に「今後、どのように砂防堰堤づくりが進められるのかわからない。」との声をお聞きしたことから、平成31年2月22日、口田南にお住まいの16名の方々に安佐南区八木3丁目の工事現場にご案内しました。

現地では、太田川河川事務所職員による進捗状況の説明のほか、復興交流館「モンドラゴン」の松井事務局長から地域の復興活動について説明を受けるなど交流を深めていただき、参加者からは「堰堤の実物を見て安心しました。」などの感想をいただきました。